



2026年9月1日(火)

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆概算要求、過去最大の143兆円前後「補正予算と一体」で20兆円増

・政府の2027年度予算の概算要求総額が一般会計で143兆円前後となることが分かった。26年度要求の122.4兆円を大幅に上回る過去最大の規模。上限を設けない成長投資枠の新設に加え、補正予算も含めた一体予算としたことで要求額が急増。高市政権が手掛けた25年度補正と26年度当初を足し合わせた140.6兆円を2兆～3兆円ほど上回る水準。

◆7月の鉱工業生産指数0.1%上昇、4カ月連続 生産用機械がけん引

・経済産業省が発表した7月の鉱工業生産指数(2020年=100、季節調整済み)速報値は104.7となり、前月から0.1%上がった。上昇は4カ月連続。半導体製造装置などの生産が伸び、生産用機械工業がけん引した。全15業種のうち10業種が上昇した。4業種が低下、1業種が横ばいだった。生産の基調判断は前月の「一進一退」を据え置いた。

◆9月の食品値上げ3倍の4923品目 3年5カ月ぶりの多さ、調味料最多

・帝国データバンクは9月の飲食料品の値上げ品目数が前年同月比約3倍の4923品目となる見通しだと発表。単月では2023年4月以来、3年5カ月ぶりの多さ。中東情勢悪化や人件費、物流費、円安などの影響が押し上げる。ロシアのウクライナ侵略の影響による値上げラッシュがあった23年4月(5404品目)に次ぐ過去4番目の多さ。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆7月着工、6.6万戸 25年度に次ぐ低水準で推移

・国土交通省が公表した7月の新設住宅着工戸数は6万6439戸(前年同月比8.2%増)。4カ月連続で増加したが、過去10年間では2025年度に次ぐ低水準で推移。事業者からは引き続き物価、金利上昇によるマインド低下を指摘する声も変わらず多い。季節調整済み年率換算値は77万4000戸(前月比1.6%減)で3カ月ぶりに減少。

◆中東不安下のゼネコン、工期維持へ綱渡り 資材代替や工程変更で工夫

・中東情勢による建設資材の供給不安を受け、ゼネコン各社が対策を進めている。工程変更や代替品の導入のほか、従来の商習慣を見直し調達先を複数に増やすなど工夫は多岐にわたる。米国とイランの衝突が長引くなか、新常態へ対応を急ぐ。大林組などの共同企業体(JV)は仙台市役所本庁舎の建て替え工事で、断熱材のメーカーを切り替え。

◆建設業倒産207件、2カ月連続で200件超え 設備工事が大幅増加

・帝国データバンクがこのほど発表した全国企業倒産集計によると、7月の全国企業倒産件数は1037件(前年同月比8.5%増)となり、2カ月連続で1000件を超えた。1000件超えが2カ月続くのは、リーマン・ショック後の影響が残っていた2009年以来約17年ぶり。負債総額は2341億1800万円(同40.6%増)だった。

《 注目商品 》

■パナソニック、エコキュートに寒冷地モデル

・家庭用自然冷媒ヒートポンプ給湯機「エコキュート」に寒冷地モデル全4シリーズ、26機種を追加。うち20機種に、微細な泡の力で皮脂や水回りの汚れを落としやすくする「ウルトラファインバブル」を搭載。全4シリーズが「給湯省エネ2026事業」の補助金対象基準を達成。



■ウッドワン、無垢の木の洗面台

・無垢の木の洗面台の分類を一新し、パッケージを選んで自分好みのアイテムを組み合わせる「FIXタイプ」と、間口サイズから収納まで自由にカスタマイズする「FLEXタイプ」を用意。FIXタイプは、従来のレギュラー設定間口を4種類に統一し、2人同時に立てるW1225サイズを強化。



■住友ゴム工業、スリム化した住宅用制震ダンパー

・高減衰ゴムを2面から1面に変更し、スリム化した住宅用制震ダンパー。本体設計の工夫により、耐力壁や柱脚を固定するホールダウン金物との併用が可能となり、コンパクト住宅など多様な条件での設置に対応。

